



今に残る歴史的町並み 「赤間宿跡」

奈良や京都などの古社寺（こしゃじ）を訪ね歩くと、長い年月をかけて積み上げられてきた歴史の重みを感じることがあります。歴史的町並みも人々の生活の中で長い時間をかけて形成されてきたもので、その場を訪れることによって、私たちに「ふるさと」のような心地よさを与えてくれます。赤間地区にある赤間宿跡も刻々と変わる時代の変化に耐えながら、江戸時代から明治にかけての町並みを今に伝える歴史的町並みの一つです。

■問い合わせ先
郷土文化交流課 ☎(62) 2600

交通の要衝 物流の中心地

赤間宿は、城山の麓の赤間地区にあり、江戸時代には、小倉から佐賀県唐津へ通じる唐津街道と、木屋瀬（こやのせ）方面へ向かう赤間街道との分岐点に位置することから、交通の要衝として栄えました。また、現在のように物流網が発達していない当時、芦屋・波津・鐘崎・神湊・勝浦・津屋崎・福岡の7つの港から三里（約12キロ）の場所に位置することから、七浦三里と呼ばれ、流通の中心地としても栄

えていました。

当時の赤間宿では、「生活に必要なものはなんでもそろう」といわれていたそうです。江戸時代に、17年かけて日本中を測量した伊能忠敬（1745～1818年）の日記にも赤間宿の記載があり、「町並みあり、人家続き、家百五十六軒」と記されています。文政4年（1821年）に、博多でしようゆ醸造を営んでいた奥村玉蘭に



今に残る兎造りの町屋の面影

赤間宿の名残

赤間宿の長さは約500m、城山から延びる丘陵の傾斜に沿って町筋が通り、商家や旅籠（はたご）

よって作られた筑前名所図会には、赤間宿に町屋が並ぶ様子が描かれていることから、江戸時代の赤間宿のにぎわいを知ることができます。



初詣の後は、海の道むなかた館へ行こう!

海の道むなかた館は、来年も元日から開館します。正月に合わせ、展示室では、12月25日（水）から「日本の凧（たこ）展」を開催。全国の珍しい「たこ」を多数展示します。中でも、10畳程度の大きさを誇る「大だこ」は圧巻。一見の価値があります。



珍しいカメラが満載

また、第2展示室では、大人気のクラシックカメラ展の第3部も開催中。映画『ローマの休日』に出てきたライター型カメラや、実際にKGB（ソ連国家保安委員会）が使ったスパイカメラ、戦時中に製作された機関銃型カメラなど、珍品、名品カメラを展示。この機会にぜひ見てください。



全国のたこが勢ぞろい

三が日は催しがいっぱい!

こまやたこの絵付け体験や、巨大だるま落としなど、ちょっと懐かしくて楽しい体験学習を実施します。平成26年1月1日（水・祝）は、宗像の郷土料理「だぶ汁」、同2日（木）は、今年おいしいと評判の「ぜんざい」の振る舞いもあります。同3日（金）には、獅子舞が登場！ 運が良ければ獅子に頭をかんでもらえるかもしれません。

その他にも、新春らしい催しを多数企画しています。



獅子に頭をかんでもらえば福の1年に!?

主なイベントの一覧

12月18日（水）～平成26年1月17日（金）	クラシックカメラ展・第3部
12月25日（水）～平成26年2月9日（日）	日本の凧（たこ）展
平成26年1月1日（水・祝）11:00～なくなり次第終了	宗像の郷土料理「だぶ汁」振る舞い（300食限定）
同1日（水・祝）～3日（金）14:00～14:40	西谷館長ギャラリートーク ▽1日＝海女のルーツ ▽2日＝相島の積石塚 ▽3日＝船原古墳の埋納坑
同1日（水・祝）～同3日（金）10:00～15:00	正月の遊び（こま、たこの絵付け、巨大だるま落とし、こま回し、めんこなど）
同2日（木）11:00～なくなり次第終了	「ぜんざい」振る舞い（500食限定）
同3日（金）10:00～10:15、11:00～11:15	「獅子舞」演奏
同7日（火）～同19日（日）	福岡県小学児童画展（宗像地区入選作品）
同17日（金）18:30～19:30	ミュージアムコンサート「尺八&箏（こと）」
同21日（火）～同31日（金）	宗像市・レジオエミリア市（イタリア）交流児童画展（リバルタ小学校・赤間西小学校・自由ヶ丘南小学校・玄海東小学校交流事業）



「だぶ汁」には長蛇の列 振る舞い

ミュージアムコンサート
新春邦楽の調べ
～尺八&箏～

新春らしい、尺八と箏の和の音色を海の道むなかた館で聞いてみませんか。入場無料。

●日時 平成26年 1月17日（金） 18:30～19:30

●曲目 「春の海」「静寂」他

●演奏
▽尺八＝矢野径山さん
▽箏＝角南美子さん